

平成 31 年 4 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- インフルエンザ患者報告数が再び増加しました。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。

全数把握の対象

【4 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	2 件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 件
腸チフス	2 件	急性脳炎	2 件
パラチフス	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 件
E 型肝炎	1 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症含む)	1 件
デング熱	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	3 件
マラリア	1 件	梅毒	15 件
レジオネラ症	1 件	百日咳	13 件
アメーバ赤痢	6 件	風しん	18 件
ウイルス性肝炎	1 件	麻疹	2 件

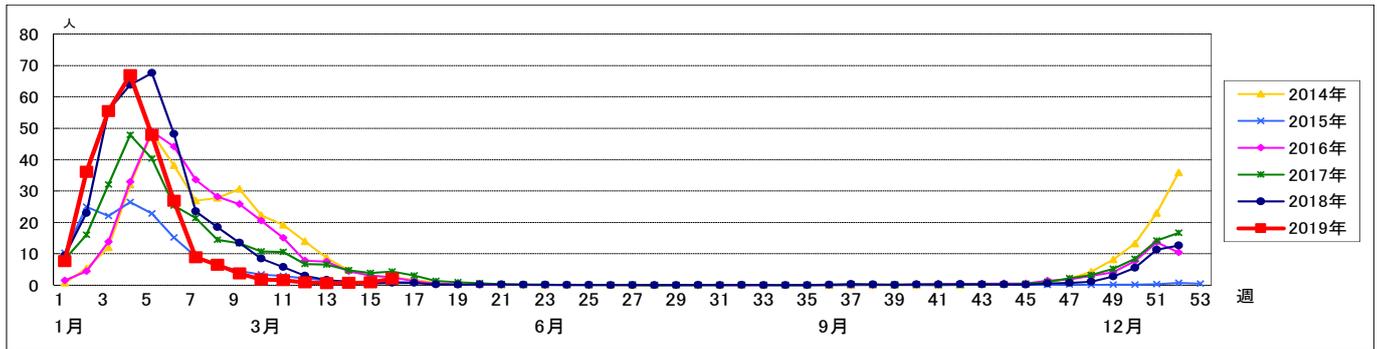
- 腸管出血性大腸菌感染症: O157 の報告が 1 件、O 不明の無症状病原体保有者の報告が 1 件ありました。
- 腸チフス: ネパールでの感染経路等不明の報告が 1 件、インドでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- パラチフス: インドでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- E 型肝炎: 感染経路等不明の報告が 1 件ありました。
- デング熱: ベトナムでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- マラリア: コンゴ民主共和国での蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が 5 件、腸管および腸管外アメーバ症の報告が 1 件ありました。インドでの経口感染が 1 件、国内またはタイでの異性間性的接触が 1 件、国内の感染経路不明が 2 件、感染地域不明で感染経路不明が 2 件でした。
- ウイルス性肝炎: B 型の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 急性脳炎: 2 件の報告 (幼児 1 件、小児 1 件) があり、病原体は不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A 群の報告が 3 件ありました。
- 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症含む): 同性間性的接触による AIDS の報告が 1 件ありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 小児の報告が 1 件 (ワクチン接種あり)、60 歳代の報告が 1 件 (ワクチン接種なし)、80 歳代の報告が 1 件 (ワクチン接種不明) ありました。
- 梅毒: 15 件の報告 (無症状病原体保有者 8 件、早期顕症梅毒 I 期 4 件、早期顕症梅毒 II 期 3 件) がありました。感染地域は国内 13 件、不明 2 件でした。感染経路は異性間性的接触が 10 件、同性間性的接触が 2 件、感染経路不明が 3 件で、性別は男性 10 件、女性 5 件でした。
- 百日咳: 10 歳未満では乳児が 2 件 (いずれもワクチン接種なし)、幼児が 1 件 (ワクチン接種あり)、小児が 7 件 (ワクチン接種あり 4 件、不明 3 件) の報告があり、10 歳代で 3 件 (いずれもワクチン接種あり) の報告がありました。
- 風しん: 検査診断例 17 件、臨床診断例 1 件が報告されています。20 歳代 2 件 (ワクチン接種なし 1 件、不明 1 件)、30 歳代 7 件 (ワクチン接種あり 1 件、なし 1 件、不明 5 件)、40 歳代 7 件 (ワクチン接種なし 3 件、不明 4 件)、50 歳代 1 件 (ワクチン接種なし)、60 歳代 1 件 (ワクチン接種不明) でした。男性 16 件、女性 2 件でした。

18 麻疹:検査診断例 2 件が報告されています。感染地域はヨーロッパ 1 件、ベトナム 1 件で、いずれも 20 歳代(いずれもワクチン接種不明)でした。

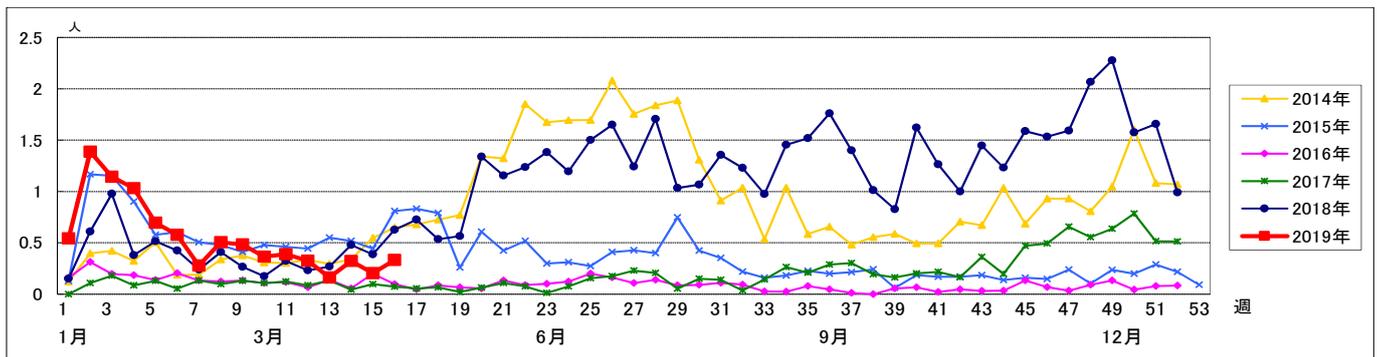
定点把握の対象

第 12 週	3 月 18 日 ~ 24 日
第 13 週	25 日 ~ 31 日
第 14 週	4 月 1 日 ~ 7 日
第 15 週	8 日 ~ 14 日
第 16 週	15 日 ~ 21 日

1 インフルエンザ:2018 年第 48 週に定点あたり 1.07 にて流行開始し、第 51 週に 11.31 にて注意報発令、2019 年第 2 週に 36.08 にて警報発令されました。第 4 週に 66.88 でピークとなった後、第 7 週に 8.86 にて警報解除となりました。第 12 週以降、1.00 を下回っていましたが、第 16 週にて 2.06 となりました。



2 伝染性紅斑:2017 年第 45 週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。2018 年第 48 週で 2.07 となり警報発令基準を上回りましたが、第 16 週では定点あたり 0.33 となっており、警報解除基準値を下回っています。



3 性感染症:3 月

性器クラミジア感染症	男性:32 件	女性:24 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 4 件	女性:10 件
尖圭コンジローマ	男性: 6 件	女性: 2 件	淋菌感染症	男性: 7 件	女性: 2 件

4 基幹定点週報:

	第 12 週	第 13 週	第 14 週	第 15 週	第 16 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.67	1.00	1.67	0.00	0.00

5 基幹定点月報:3 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/>